

平成30年度 事業報告

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

【基本方針】

森林・緑の持つ多様な機能を持続的に発揮させるために県内においても県民やボランティア団体、事業者などの民間団体等を中心に緑化活動や森林づくりなどの自発的な活動への関心が高まっている。

このため、平成30年度事業においては、県民の緑化活動への理解を深めるため、イベント、パンフレット、ラジオ、新聞による普及啓発に努めた。

また、県をはじめとする関係機関や団体と連携をとりながら森林ボランティア活動を支援し、県民協働のもとに広葉樹を中心とする里山などの森林づくりや、平坦地の緑化を推進した。

緑の募金運動の展開に当たっては、市町緑化推進協議会と連携を図り、県民を始め森林ボランティア団体、緑の少年団等広範な県民の協力を得ながら多様な募金活動を展開した。

【会議等】

1 理事会

(1) 第1回通常理事会

平成30年5月16日（水）佐賀県農林水産部内会議室において開催し、下記議案について審議の結果、原案のとおり承認された。

議 題

第1号議案 平成29年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録（これらの関連附属明細書を含む）について

第2号議案 平成30年度収支補正予算について

第3号議案 平成30年度定時評議員会の招集及び提出議題について

報告事項

- ① 役員の職務の執行状況について
- ② 基本財産の運用状況について
- ③ 理事の改選について

(2) 第2回通常理事会

平成31年2月6日（水）佐賀県自治会館中会議室Bにおいて開催し、下記議案について審議の結果、原案のとおり承認された。

議 題

第1号議案 緑の募金運営協議会運営規程の一部改正について

第2号議案 平成30年度収支補正予算について

第3号議案 平成31年度事業計画及び平成31年度収支予算について

報告事項

- ① 役員の職務執行状況について
- ② 財政的援助団体監査の結果について

(3) 臨時理事会（書面による決議）

通常理事会の他、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する同法第96条及び定款第39条第2項の規定に基づく書面決議を次のとおり開催し、理事全員の同意及び監事全員の確認を得て承認された。

- ① 平成30年6月13日（水）
理事長及び常務理事選定に関する件
- ② 平成30年6月21日（木）
さが緑の募金運営協議会委員1名の選任に関する件
- ③ 平成30年7月31日（火）
評議員会の招集及び決議事項（監事1名選任）に関する件
- ④ 平成30年10月22日（月）
さが緑の募金運営協議会委員1名の選任に関する件

2 評議員会

(1) 定時評議員会

平成30年6月6日（水）佐賀県農林水産部内会議室において開催し、下記議案について審議の結果原案のとおり承認された。

決議事項

第1号議案 理事の選任について

第2号議案 平成29年度貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録（これらの関連附属書類を含む）について

報告事項

- ① 平成29年度事業報告について
- ② 平成30年度事業計画及び収支予算について

(2) 臨時評議員会（書面による決議）

定時評議員会の他、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条及び定款第23条の規定に基づく書面決議を次のとおり開催し、評議員全員の同意を得て承認された。

- ① 平成30年8月13日（金）
監事1名の選任に関する件
- ② 平成31年3月13日（水）
理事1名の選任に関する件

3 緑の募金運営協議会

(1) 第1回運営協議会

平成30年4月20日（金）佐賀県庁10号会議室において開催し、下記議案について審議の結果原案のとおり承認された。

審査案件 平成30年度緑の基金一般公募助成事業の採択について

(2) 第2回運営協議会

平成30年7月13日(金)佐賀県農林水産部内会議室において開催し、下記議案について審議の結果原案のとおり承認された。

報告事項

- ① 平成29年度緑の募金事業報告及び収支決算について
- ② 平成29年度緑の基金助成事業実地検査の結果について
- ③ 平成30年度緑の基金助成事業の採択審査について

審査案件 平成30年度緑の基金助成事業について

(3) 第3回運営協議会

平成31年1月23日(水)佐賀県農林水産部内会議室において開催し、下記議案について審議の結果原案のとおり承認された。

議題

- 第1号議案 運営協議会委員長の選任について
- 第2号議案 緑の募金運営協議会運営規程の一部改正について
- 第3号議案 平成30年度緑の募金事業収支補正予算について
- 第4号議案 平成31年度緑の募金事業計画及び収支予算について

【 公益事業1 (一般事業) 】

一般事業では、基本財産の運用収入、(公社)国土緑化推進機構等の助成金及び受取寄附金(緑化普及積立資産)等を財源として、以下の主要な事業を実施した。

1 緑の普及啓発事業 [決算額 8,914 千円]

(1) 普及啓発 [決算額 7,310 千円]

- ① 県民の緑化意識の高揚と県民参加の緑化運動を推進するため、ラジオ、新聞による情報発信を行った。緑あふれた地域づくりの気運の醸成を図るため、苗木などの普及資材を配布するとともに、緑化関係行事等に参加した。
- ② 森林・緑に対する理解を深めるとともに緑化意識の高揚を図るため、学校関係者及び市町教育委員会などの協力を得て、(公社)国土緑化推進機構と連携し小・中学校、高等学校の児童、生徒や一般県民を対象に標語の募集を行い優秀者には知事賞を授与するとともに、当法人のホームページへの掲載を行い意識の高揚に努めた。
また、優秀作品10点を国土緑化運動の審査会に推薦した。
- ③ 県民が緑とふれあい、うるおいと安らぎのある緑豊かな環境を促進するため、県民から寄せられた様々な相談に応ずるとともに、植樹活動に対する助言・指導を行った。
- ④ 県内の小・中学校等からの要請を受け、学校や脊振山などの現地や林業試験場内で森林環境教育を行った。
- ⑤ 県内の森林ボランティア活動に必要な作業用具の維持管理、用具の貸出及び使用方法などの指導を行った。
- ⑥ 森の名手・名人100人の推薦、認定書の伝達

(公社)国土緑化推進機構が行う「もりの国・日本運動」の「森の名手・名人」の森づ

くり部門として「山口 貞義(苗木生産、嬉野市)」加工部門として「松尾 克美(建具家具製造、伊万里市)」及び「村上 貞雄(木彫師、太良町)」をそれぞれ推薦し、選定されことから認定書の伝達を行った。

○ 参加した主な緑化関係行事等

行 事 名	実施年月日	開催場所
第69回全国植樹祭	平成30年6月10日	福島県南相馬市 (海岸防災林整備地)
ふれあいの森フェスタ	平成30年10月28日	21世紀県民の森
全国緑の少年団活動発表大会	平成30年11月17日	東京都八王子市(南大沢文化会館)
第42回全国育樹祭	平成30年11月18日	東京都調布市(武蔵野の森緑のまつり)

(2) 新1年生記念樹配布 [決算額 179 千円]

新しく新1年生として入学する子供たちに、緑を育み大切にする心を育てるため、市町教育委員会と連携し、県下の小学校や特別支援学校等のうち希望する学校33校にヤマザクラやイロハモミジなど15種43本の記念樹を配布した。

(3) よかウッドフェスタ及び緑化祭 [決算額 719 千円]

森林・緑は県民共通の財産として社会全体で守り育て、未来に引き継いでいくという意識を醸成し、県民協働による豊かな広葉樹の森林づくりを進めるため、佐賀県との共催によりどん³の森中央広場を会場に「よかウッドフェスタ及び緑化祭」を平成30年11月4日(日)に開催した。

主な開催行事として、

- ・ 緑の募金高額寄付団体の表彰並びに森の名手・名人認定証の伝達
- ・ 併催イベントとして、地元の郷土芸能の披露・餅投げ、チェーンソーアートや木の実工作やふれあい木工工作などの森に関係した多彩な催しなどを行い、約2千人の参加者に森の恵みを活用したイベントで楽しんでもらうとともに緑化の推進を図った。

(4) ふれあいの森フェスタ [決算額 706 千円]

県民に森とふれあいを通して、森・川・海が暮らしに様々な恩恵を与え、重要な役割を果たしていることへの理解を深めてもらい、森・川・海に対する県民意識の醸成を図るため、佐賀県との共催により21世紀県民の森を会場に「ふれあいの森フェスタ」を平成30年10月28日(日)に開催した。

- ・ 森づくり活動としてヤブツバキ 100本・コブシ 100本・クヌギ 150本をふるさと記念の森内と木工芸センター入口付近に一般県民及び緑の少年団延べ80名で植樹を行った。

- ・ 森・川・海のパネル展示、森川海の素材を使った工作や積木コーナーを催した。
- ・ 森川海の講演会・クイズ大会、動物ふれあいコーナー、森の水族館等の催し森川海は一つとの認識を深めてもらうとともに、森川海が一体となった整備・保全や維持管理が重要であるとの意識の醸成を図った。

2 提案公募型緑づくり活動支援事業 [決算額 522 千円]

C S O 等から企画提案された特色ある森林づくり(地域に密着した様々な夢のある森林づくり)、森林環境学習会の開催や竹林の保全と活用事業など企画提案された 2 事業を採択支援した。

- ・ 県産間伐材を利用した木工教室及び森林環境学習会を開催することにより、地域の森林整備等への関心を高めるとともに、自然環境保全の心を育む神埼市の N P O 法人の取組
- ・ 水害防備林である兵庫竹林の保全とあわせ、市民参加による竹林の活用と保全活動に関する佐賀市大和町の N P O 法人の取組

など魅力ある地域作りに取り組む 2 団体に助成することにより緑化の推進を図った。

3 緑と水の森林基金助成事業 [決算額 748 千円]

(1) 緑の探検学習会及び緑の少年団活動発表大会 [決算額 714 千円]

緑の少年団の自主性・協調性を養うとともに、自然や緑の大切さを理解し、環境美化や緑化活動に積極的に参加する心を培うため、自然豊かな佐賀市富士町において緑の少年団探検学習会及び緑の少年団活動発表大会を開催した。

○ 緑の少年団探検学習会及び緑の少年団活動発表大会

日 時 平成 3 0 年 8 月 1 日 (水)

会 場 佐賀市北山コミュニティーセンター・中原神水川公園

参加者 緑の少年団、指導者等 2 1 5 名

行 事 活動発表大会(地区代表 5 団)最優秀賞 1 団、優秀賞 1 団

講 話 自然災害に備える(佐賀地方気象台水害対策気象官 高平憲一氏)

体験活動 神水公園の森での葉っぱウォークラリー、福を呼ぶスプーンづくり

(2) ふるさと記念の森管理事業 [決算額 34 千円]

2 1 世紀県民の森に県にゆかりのある人々や一般県民が植樹した「ふるさと記念の森」の管理の一環として下草刈り業務を行った。

4 国土緑化推進機構受託事業 [決算額 290 千円]

国土緑化推進機構からの受託事業として、森の名手・名人及び公募事業などの募集・推薦並びに事業実施に対する指導のほか、全国の幼稚園等を対象に実施されている「巡回森の教室(どんぐりくんと森の仲間たち)」を伊万里市及び武雄市、鹿島市の保育園 3 箇所で開催した。

5 事業推進事務費 [決算額 2, 469 千円]

【公益事業2（緑の募金事業）】

県民総参加による「緑の募金」運動を展開し、市町緑化推進協議会、ボランティア団体、緑の少年団等の協力により家庭募金、企業募金、学校募金、街頭募金を実施した。

募金目標額は56,000,000円としたところであるが、家庭募金や職場募金などで目標額を下回ったことから目標額は達成することが出来なかった。

- 募金実績額：53,980,971円
- 運動期間 春：平成30年3月1日～ 5月31日
秋：平成30年9月1日～10月31日

1 緑の少年団等育成事業 [決算額 4,256 千円]

(1) 活動・交流支援 [決算額 4,086 千円]

緑を守り育てる心を養うことを目的に、年間を通じて様々な緑化活動を行っている緑の少年団44団に対し、日常の活動費への助成を行った。

また、県内3地区で地域住民や子供達の交流を促進し、地域の特性を生かした多様な緑化活動を行った。

① 佐賀中部・東部地区

期 日：平成30年12月2日

実施場所：佐賀市 さが21世紀県民の森 木工芸センター

参加者：31名

行事内容：県民の森の整備活動で枝打ちや植樹体験を通じて人と森と関わりを学ぶとともに、楽しく森の材料を使った木のクリスマスツリーづくり体験を通し地区内の少年団相互の交流を図った。

② 武雄・鹿島地区

期 日：平成30年12月16日

実施場所：鹿島市 鹿島市自然の館ひらたに

参加者：84名

行事内容：森林の役割について、森が果たす役割や人間への恩恵について学ぶとともに、木の枝や木片、どんぐりなど森の材料を使った森のクリスマスツリーづくり体験を通し地区内の少年団相互の交流を図った。

③ 唐津・伊万里地区

期 日：平成31年2月17日

実施場所：唐津市 虹の松原東の浜海浜公園周辺

参加者：52名

行事内容：佐賀県の貴重な財産である虹の松原について保全活動の指導をしていただき松葉かき体験を通して自然や緑を守り育てることの大切さを学ぶとともに、テダ松を使用して、どんぐりなど森の材料を使ったネイチャークラフト体験を通し地区内の少年団相互の交流を図った。

- (2) 佐賀県緑の少年団連絡協議会助成 [決算額 170 千円]
県内の緑の少年団育成・交流事業や少年団指導者研修会開催等に要する経費に対し助成することにより、県内の緑の少年団の健全な育成、強化及び指導者の育成を図った。

2 緑化ボランティアの育成事業 [決算額 767 千円]

(1) 森林づくりボランティア団体等育成活動支援 [決算額 566 千円]

① 県内で様々な森林づくり活動を実施している「森林づくりボランティア」は、現在 28 団体が登録しており、このうち申請のあった 8 団体の活動に要する経費に助成した。

② 森林ボランティア団体の育成、活動を広げるために、森林ボランティアリーダーを育成する研修を実施した。

期 日：平成 31 年 3 月 9 日

場 所：福岡県筑紫野市天山地区、神埼郡吉野ヶ里町 五ヶ山ダム

参加者：親林交流指導員、ボランティアリーダー 9 名

内 容：天山ふれあいの会の活動の視察（童男少女岩周辺、天山公民館）森の整備活動の取組について視察し、移植された吉野ヶ里町五ヶ山ダムの佐賀県天然記念物「小川内の杉」の現在の状態や今後の予定などの視察・研修を行った。

講 師：天山ふれあいの会 井上 元生 氏

樹木医 山口 秀樹 氏

(2) 親林交流指導員の派遣 [決算額 201 千円]

学校や公民館等で開催される環境教育、自然観察会など要請のあった学校、地域の団体等 12 団体 11 件の派遣要請に対し、基金に登録している親林交流指導員延べ 18 名を派遣・斡旋し緑化の普及を図った。

このうち、11 団体 8 件について、講師謝金等を基金が負担した。

対象団体：小・中学校、放課後児童クラブ、公民館など

対 象 者：幼稚園児・小中学生・保護者、一般県民など 延べ 244 名

3 こだまの森林・緑づくり事業 [決算額 6,756 千円]

(1) 緑の県土づくり活動支援 [決算額 5,047 千円]

① 地域のボランティアを中心に、広く参加者を募るなどして行う「シンボルの森、水源の森、海の森」などの森林づくり（植栽、下草刈り、枝打ち等）を行った 10 団体、また平坦地、里山などにおける緑づくり（植栽、下草刈り等）を行い地域の環境整備を行った 7 団体に対し助成することにより緑化の促進を図った。

② 県各地域で活動している「緑化・美化ボランティア」の登録団体（115 団体）のうち申請のあった 19 団体に対し、苗木等の資材購入費を助成することにより緑化の促進を図った。（1 団体 20 千円以内）

(2) 民間団体等の緑化支援 [決算額 1,509 千円]

明治維新 150 年並びに天皇陛下御在位 30 年を記念し、金立公園の里山で既存木伐採等を行い、ソメイヨシノ・イロハモミジの広葉樹 2 種 160 本を植樹し、一般社団法人佐賀県造園建設業協会の取組に助成することにより緑化の促進を図った。

(3) 国際緑化 [決算額 200 千円]

オイスカ佐賀県推進協議会がタイ・チェンライ内の3小学校及びパボンタオケンチャン村での植樹活動（ヒマラヤ桜、アカギなど17種410本）に対し、助成を行うことにより国際緑化の促進を図った。

4 市町緑化の推進事業 [決算額 30,975 千円]

- ① 市町推進協議会がイベント等を通じて行った募金活動や植樹祭、各種行事での苗木等の配布などの普及啓発事業に助成を行うことにより緑化の促進を図った。
- ② 県内16市町の市町推進協議会や自治会等が行った地域の公園、街路、学校、公民館、社会福祉施設等公共的施設などの地域の緑化に対し助成を行うとともに県内の名木、古木の治療を行い保存維持に努めた事業に対し助成することにより緑化の促進を図った。

5 募金活動の推進事業 [決算額 5,886 千円]

緑の募金の周知徹底を図るため、新聞広告やラジオによる広報活動を行うとともに、ポスター、チラシの作成・配布等による普及啓発活動を行った。

また、官庁、企業等で職場募金として行う募金活動に必要な資材を購入し募金の拡大に努めた。

6 国土緑化推進機構交付金 [決算額 2,103 千円]

全国的な見地から行う森林の整備、緑化の推進及びこれらに係る国際協力並びに東日本大震災復興のための緑化事業を進めるため、(公社)国土緑化推進機構に対し、募金額に応じて交付した。

交付金=定額割額(500千円)+定率割額(当該年(暦年)の募金実績(千円)×3%)

7 事業推進事務費 [決算額 6,053 千円]